

引用文献

- Afzelius,M.,Östman.M,Råstam,M.,Priebe,G.(2018)Parents in adult psychiatric care and their children: a call for more interagency collaboration with social services and child and adolescent psychiatry, Nord J Psychiatry.72(1):31-38.
- 秋津佐智恵. (2004). 精神疾患を持つ母とその子どもへの健全育成地域サポート体制づくり (1). 地域保健, 35(4), 78-86.
- 青木由美恵.(2016).介護を担う子ども(ヤングケアラー)研究に関する文献検討.ヒューマンケア研究学会誌,7(2),73-78.
- Atkinson,M.,Jones,M., Lamont,E.(2007).Mutli-agency working and its implications and practice:A review of the literature.Retrieved from:<https://www.nfer.ac.uk/media/2001/mad01.pdf>
- 馬場美穂,伊藤弥,鮎田栄治,長島健太郎,志村浩,東彦弘,...伊澤良介.(2019).妊娠中の統合失調症の治療はどうすべきか何が児に影響するか.精神神経学雑誌,121(9),689-699.
- 伊達直利.(2004).児童養護施設における家庭復帰の現状と家族再統合の取り組み(特集家族の再統合).世界の児童と母性,57,26-29.
- 堂下陽子,高比良祥子.(2018a).子育て中の精神障がい者に対する訪問看護の実施頻度と訪問看護師が直面する困難.長崎県立大学看護栄養学部紀要,16,1-9.
- 堂下陽子, 高比良祥子. (2018b). 精神障害をもちながら子育てしている利用者に対する訪問看護師による育児支援内容. 日本精神科看護学術集会誌, 61(1), 18-22.
- 堂下陽子,高比良祥子.(2019).子育て中の精神障害をもつ利用者への訪問看護を導入し継続するために必要な看護.長崎県立大学看護栄養学部紀要,17,23-30.
- 榎原紀子,栄セツコ.(2013).【恋愛・結婚・子育て】(第4章)事例から学ぶ「恋愛・結婚・子育て」支援生きる力へとつながる子育て支援親役割をもつ20の事例が教えてくれたこと.精神科臨床サービス,13(3),377-382.
- 藤川浩.(2005).被虐待児童の保護者に対する援助・治療方法に関する研究.研究助成論文集,(41),166-172.
- 福田ゆう子.(2011).1週間健診とエジンバラ産後うつ病評価表ではじまる「システム型」支援ネットワークの確立.子どもの心とからだ,20(1),82-90.

- 淵野俊二.(2016).乳児院における遊戯療法を活用した心理的支援の拡がり境界性パーソナリティ障害の母親から虐待を受けた女兒の事例を通じて.心理臨床学研究,34(2),184-195.
- Hammond,I.,Eastman,L.,Leventhal,M.,Putnam-Hornstein,E.(2017). Maternal Mental Health Disorders and Reports to Child Protective Services: A Birth Cohort Study, Int J Environ Res Public Health. Oct 30;14(11):1320. doi:10.3390/ijerph14111320
- 羽尾和紗,蔭山正子.(2019).精神疾患を患う母親をもつ子どもの生活体験と病気の気づき.日本公衆衛生看護学会誌,8(3),126-134.
- 肥田裕久.(2017).【精神疾患を抱える親をもつ子どもへのケア】精神疾患を抱える親をもつ子どもへのケア.精神科看護,44(12),4.
- 樋口亜.(2008).児童養護施設における心理療法事業に関する一考察.大阪府立大学大学院人間社会学研究科心理臨床センター紀要,(1),44-49.doi:nfo:doi/10.24729/00005303
- 日野雅洋,大森眞澄,石橋照子,高橋恵美子,井上千晶,松谷ひろみ.(2019).精神疾患を有する母親の育児ストレスとサポートの関連.島根県立大学出雲キャンパス紀要,15,57-64.
- 菱川賢志,久保隆彦,吉居絵理,左合治彦.(2015).単一周産期センターにおける精神疾患合併妊婦の10年間の後方視的検討.日本周産期・新生児医学会雑誌,51(1),210-214.
- 猪狩由美子.(2019).子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり妊娠期から子育て期までの行政・地域・医療の連携を行う母親の産後うつを背景とした家族支援の展開について.茨城県母性衛生学会誌,(37),70-73.
- 飯浜浩幸,上原正希,杉本大輔,吉江幸子,大島康雄,佐々木智城.(2018).児童養護施設入所児童とメンタルヘルス問題のある親との家族再統合に関する研究全国調査から見えてきたものの関係性の構築とエンパワメントについての検討(第3報).星槎道都大学紀要(社会福祉学部),(43),7-23.
- 犬塚峰子.(2004).家族再統合--児童相談所の取り組み(〔発達〕創刊100号記念生きる意味を語ろう)--(特集1親子の絆--子ども虐待の現場から).発達,25(100),24-30.
- 石田賀奈子,伊藤嘉余子,永野咲.(2015).児童養護施設による家庭復帰事例へのアフターケアの実態に関する調査研究.神戸学院総合リハビリテーション研究,10(2),69-82.

- 伊藤嘉余子,石田賀奈子,永野咲.(2014).児童養護施設から子どもが家庭復帰した家庭への養育支援:市町村における養育支援訪問の実態調査からの分析.地域福祉研究センター年報 2013 年度,(3),1-11.
- 岩田充宏,鈴木淳子,加藤秀一,山本理沙,梨本哲,上林伸好,...三宅捷太.(2006).児童福祉施設退所児童の平均入所日数と児童および家庭状況の関連について児童相談所における家族再統合へ向けた支援上の課題についての一考察.子どもの虐待とネグレクト,8(1),51-59.
- 岩田千亜紀.(2015).高機能自閉症スペクトラム障害(ASD)圏の母親の子育てにおける困難とニーズ当事者に対する質的研究に基づく分析.社会福祉学,56(3),44-57.
- 鏑木康夫.(2011).【子ども虐待】対応の実態育児困難と子ども虐待.こころの科学,(159),28-32.
- 蔭山正子.(2018).メンタルヘルス不調のある親への育児支援(pp.43-44,pp.158).明石書店
- 蔭山正子,田口敦子.(2013).精神障がいをもつ母親への保健師による育児支援技術病状と育児のバランスを図る.日本地域看護学会誌,16(2),47-54.
- 上別府圭子,小野和哉,呉太善.(2002).子どもを愛せないと訴えた母親の事例 心理療法とサポート・システムによる援助.児童青年精神医学とその近接領域,43(1),64-77.
- 上別府圭子,杉下佳文,栗原佳代子,村山志保,&山崎あけみ.(2010).周産期のメンタルヘルスと虐待予防のための育児支援システム構築に関する研究地域母子保健からの検討.子どもの虐待とネグレクト,12(1),61-68.
- 上別府圭子,上野里絵,牛島定信.(2007).次世代育成に関わる者のメンタルヘルス(その 2)精神疾患を有する女性が「親になること」に関する質的研究.メンタルヘルス岡本記念財団研究助成報告集,(18),29-36.
- 上岡陽江.(2001).こんなサポートがほしかった薬物依存症の母親へのサポートについて.子どもの虐待とネグレクト,3(1),159-162.
- 金子一史,野邑健二,田中伸明,瀬地山葉矢,高橋靖子,村瀬聡美,本城秀次.(2008).母親の抑うつと母親から子どもへの愛着に関する縦断研究妊娠中期から産後 1 ヶ月まで児童青年精神医学とその近接領域 49(5),497-508
- 河崎佳子.(2016).【妊娠・出産・子育てをめぐるこころのケア親と子の出会いからはじまる周産期精神保健】周産期医療から地域での支援へ乳児院での子ども育てと保護者支援.別冊発達,32,224-232.

- 河野美幸,大木康史,荒川浩一,峯岸敬,定方久延,亀田高志,勝俣祐介.(2013).母体精神疾患を合併した NICU 入院患者についての検討.日本周産期・新生児医学会雑誌,49(3),957-961.
- 北川清一,神長ふさ子,塩田規子.(2010).事例研究(20)児童養護施設における家族支援の実践--計画策定の方法と IT 化の可能性.ソ・シャルワ・ク研究,36(3),58-65.
- 北澤純,高橋健太郎.(2018).精神疾患合併妊娠における新生児予後についての検討.女性心身医学,23(2),96-101.
- 厚生労働省.(2004).児童養護施設入所児童等調査の概要(平成 15 年 2 月 1 日現在).<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2004/07/dl/h0722-2c.pdf>
- 厚生労働省.(2013).子ども虐待対応の手引き(平成 25 年 8 月改正版).https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dv/dl/120502_11.pdf
- 厚生労働省.(2013).社会的養護関係施設における親子関係再構築支援事例集.https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/syakaiteki_yougo/dl/working7.pdf
- 厚生労働省.(2014a).社会的養護関係施設における親子関係再構築支援ガイドライン(平成 26 年 3 月).https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/syakaiteki_yougo/dl/working9.pdf
- 厚生労働省.(2014b).児童相談所における保護者支援のためのプログラム活用ハンドブック.https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/14_1.pdf
- 厚生労働省.(2017a).新しい社会的養育ビジョン.<https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11905000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Kateifukushika/0000173865.pdf>
- 厚生労働省.(2017b).「要保護児童対策地域協議会設置・運営指針」の一部改正について.<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000161701.pdf>
- 厚生労働省.(2019a).ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書.<https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000592954.pdf>
- 厚生労働省.(2019b).要保護児童対策地域協議会におけるヤングケアラーへの対応について.https://www.mhlw.go.jp/topics/2020/01/dl/4_kodomo-07.pdf

- 厚生労働省.(2020).児童養護施設入所児童等調査の概要(平成 30 年 2 月 1 日現在).<https://www.mhlw.go.jp/content/11923000/000595122.pdf>
- 工藤紗弓.(2013).精神疾患を抱えながら子育てをする者およびその子どもの困難訪問看護スタッフに対するインタビューを通して.武蔵野大学心理臨床センター紀要,(13),43-54.
- 栗原佳代子,杉下佳文,池田真理,山崎あけみ,古田正代,山本弘江,...上別府圭子.(2010).周産期のメンタルヘルスと虐待予防のための育児支援システム構築に関する研究医療機関からの検討.子どもの虐待とネグレクト,12(1),69-77.
- 棚澤令子.(2010).母子の育ちなおしのプロセス精神疾患をもつ親の子育て支援.心理臨床学研究,28(4),401-411.
- Lagan,M.,Knights,K.,Barton,J.,&Boyce,P.M.(2009).Advocacy for mothers with psychiatric illness: a clinical perspective. International journal of mental health nursing, 18(1), 53-61. <https://doi.org/10.1111/j.1447-0349.2008.00576.x>
- 丸山朋子,逸見尚子,野間治義,楠本義雄,田尻仁.(2016).精神疾患合併妊婦からの出生児の特徴と退院支援に関する検討.日本周産期・新生児医学会雑誌,52(1),36-42.
- Mary ,VS. (2012).Intervention to prevent child custody loss in mothers with schizophrenia. Schizophr Res Treatment.:796763. doi:10.1155/2012/796763
- 松宮透高.(2008).被虐待児童事例にみる親のメンタルヘルス問題とその支援課題 児童養護施設入所児童の調査を通して.川崎医療福祉学会誌,18(1),97-108.
- 松宮透高.(2011).児童虐待事例に対する問題解決プロセス 北海道浦河町におけるメンタルヘルス問題のある親への支援実践から.社会福祉学,52(3),40-52.
- 松宮透高.(2016).メンタルヘルス問題のある親による子ども養育世帯支援における包括型地域生活支援(ACT)プログラムの活用の可能性とその課題.子どもの虐待とネグレクト=JapaneseJournalofChildAbuseandNeglect:日本子ども虐待防止学会学術雑誌,18(3),353-361.
- 松宮,透高.(2013).ACT(assertivecommunitytreatment)における子ども虐待防止機能の研究:メンタルヘルス問題のある親による養育支援事例の検証を通して.研究助成論文集,(49),138-147.
- 松宮透高,井上信次.(2010).児童虐待と親のメンタルヘルス問題 児童福祉施設への量的調査にみるその実態と支援課題.厚生指標,57(10),6-12.

- 松宮透高,井上信次.(2014).児童福祉施設入所児童への家庭復帰支援と親のメンタルヘルス問題.厚生指標,61(15),22-27.
- 松宮透高,八重樫牧子.(2013).メンタルヘルス問題のある親による虐待事例に対する相談援助職の認識 児童福祉と精神保健福祉における差異を焦点として.社会福祉学,53(4),123-136.
- 松岡是伸,小山菜.(2008).ソーシャルワークの機能と役割に関する一考察--児童養護施設の実践事例をもとにして.紀要,2,29-39.
- 南智子,宮岡佳子,内田里華,広瀬徹也.(2009).精神疾患を有する母親の育児における喜びと困難.跡見学園女子大学文学部紀要,(43),61-75.
- 三宅芳宏.(2001).【被虐待児症候群家族ケアを中心に】看護ケアのポイント地域における対応と支援の仕方 心理職の立場から虐待親子への継続的サポート.小児看護,24(13),1807-1811.
- 水谷暢子.(2011).【家族再生を支え合う実践】社会的養護における家族支援の実践乳児院における家族支援.家族療法研究,28(3),236-240.
- 森鍵祐子,大竹まり子,大谷和子,細谷たき子,小林淳子.(2014).子育て中の統合失調症の母親に対する保健師の支援.北日本看護学会誌,17(1),19-24.
- 森田久美子.(2010).メンタルヘルス問題の親を持つ子どもの経験 不安障害の親をケアする青年のライフストーリー.立正社会福祉研究,12(1),1-10.
- 村方多鶴子.(2017).精神障害をもつ女性が結婚・出産・子どもとの関わりを通して他者から受けたエンパワメントの主観的体験.精神障害とリハビリテーション,21(1),78-84.
- 村方多鶴子,角田秋.(2017).必要な精神医療を受けずに子どもと同居している母親への支援アウトリーチ推進事業による手厚い支援の分析.精神障害とリハビリテーション,21(2),188-195.
- 村田典子.(2012).児童養護施設における家族支援と家庭支援専門相談員の新たな役割:家族再統合事例を手掛かりに.流通経済大学社会学部論叢,22(2),127-136.
- 村田真弓.(2012).医療福祉専門職の多職種連携・協働に関する基礎的研究各専門職団体の倫理綱領にみる連携・協働の記述から.人間関係学研究:大妻女子大学人間関係学部紀要,13,159-165.
- 長江美代子,土田幸子.(2013).精神障がいの親と暮らす子どもの日常生活と成長発達への影響.日本赤十字豊田看護大学紀要,8(1),83-96.

- 中富尚宏.(2014).児童養護施設における被虐待児と親への家族療法的援助の可能性子どもが希望をもって家族再統合につながるまで.家族療法研究,31(3),255-262.
- 中山浩.(2007).医療・保健・福祉連携による虐待防止と家庭支援の試み
- 中山浩,伊藤真人,中川正俊,藤生道子.(2007).医療・保健・福祉連携による虐待防止と家庭支援の試み.精神科治療学,22(2),215-220.
- 田野中恭子.(2019b).精神疾患の親をもつ子どもの困難.日本公衆衛生看護学会誌,8(1),23-32.
- 檜原真也.(2010).児童養護施設におけるライフストーリーワーク:子どもの歴史を繋ぎ,自己物語を紡いでいくための援助技法.大正大学大学院研究論集,(34),258-248.
- 日本財団.(2017).社会的養護のアウトカムに関する系統的レビュー報告書.https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2018/12/wha_pro_hap_10.pdf
- 西原尚之.(2017).家族再統合にむけたファミリーソーシャルワーク:児童相談所がおこなう家庭復帰支援の前提条件.筑紫女学園大学研究紀要,(12),147-159.
- 野坂祐子.(2019).【トラウマインフォームドケアと小児期逆境体験】児童福祉におけるトラウマインフォームドケア.精神医学,61(10),1127-1133.
- Ohashi,H.,Wada,I.,Yamaoka,Y.,Nakajima-Yamaguchi,R.,Ogai,Y.,Morita,N.(2018). Cumulative risk effect of household dysfunction for child maltreatment after intensive intervention of the child protection system in Japan: a longitudinal analysis. Environ Health Prev Med. 2018 Apr 20;23(1):14. doi: 10.1186/s12199-018-0703-6..
- 岡田尊司.(2013).シックマザー - 心を病んだ母親とその子どもたち - (pp.55).筑摩書房.
- 大木幸子.(2015).見方を変えると"場"が変わる事例検討会の進め方(第6回)【事例4】支援過程を振り返り保健師の責任について検討する.保健師ジャーナル,71(6),526-532.
- 扇谷綾子,池田由香,新居育世,安原肇,恵美須礼子,箕輪秀樹.(2017).精神疾患合併妊婦の支援における問題点と当院の取り組み.日本周産期・新生児医学会雑誌,53(1),71-76.
- 大野真実,上別府圭子.(2015).精神疾患をもつ母親と暮らす子どもへの支援精神科医療機関における専門職者インタビューからの質的分析.家族看護学研究,21(1),2-13.
- 小野加津子.(2019).【子育て中の人への精神科訪問看護】母親の自覚・自信獲得への支援と集団ケア.コミュニティケア,21(12),58-61.

- 音山裕宣.(2019).発達障害を有する子どもと精神障害を有する親への臨床発達支援のあり方に関する実践研究 - 子ども虐待ソーシャルワークにおける家族再統合支援からの考察臨床発達心理実践研究,14(2),84-94
- 大塚斉,浜崎あえか,下川昭夫.(2006).地域における子どもと家族の心理臨床的支援に関する研究児童養護施設における子どもと家族の支援.首都大学東京東京都立大学心理学研究,16,21-30.
- Rasic,D.,Hajek,T.,Alda,M.,Uher,R.(2014).Risk of mental illness in offspring of parents with schizophrenia, bipolar disorder, and major depressive disorder: a meta-analysis of family high-risk studies.Schizophr Bull. Jan;40(1):28-38. doi: 10.1093/schbul/sbt114.
- 佐伯和子,麻原きよみ,荒木田美香子,岡本玲子(2014)公衆衛生安吾技術(pp.3),医歯薬出版株式会社.
- 才村純,(2019),児童虐待の発生予防と家族再統合に向けた提言.一般社団法人平和政策研究所.https://ippijapan.org/pdf/Opinion130_JSaimura.pdf
- 才村純,澁谷昌史,柏女霊峰,庄司順一,有村大士,妹尾洋之,...宮口智恵.(2007).児童相談所における家族再統合援助の実施体制のあり方に関する研究虐待者の属性と効果的な援助に資する要因との相関関係等に関する実証研究.日本子ども家庭総合研究所紀要,43, 181-202.
- 榎原文.(2010).乳児院入所ケースからの分析児童虐待予防活動に期待すること.保健師ジャーナル,66(7),647-653.
- 佐野信也,石井元康,中板育美,菊地秀明,佐藤豊.(2008).虐待する母の精神療法精神科治療に「子どもの虐待」が浮上するとき.子どもの虐待とネグレクト,10(2),230-241.
- 澤田いずみ.(2012).【病気の子どもをもつ親への対応】精神障害をもつ人が親になる過程を支える看護.小児看護,35(3),331-336.
- 澤田いずみ.(2013).A 県の児童相談所の児童票にみられた虐待問題を抱える養育者のメンタルヘルスと複合的困難の実態.日本精神保健看護学会誌,22(1),85-93.
- Seeman MV.(2012).Intervention to prevent child custody loss in mothers with schizophrenia. Schizophr Res Treatment.:796763. doi:10.1155/2012/796763
- 千賀則史.(2011).虐待ケースにおける児童相談所と保護者の関係性形成のプロセスについて.子どもの虐待とネグレクト:日本子ども虐待防止学会学術雑誌,13(3),387-395.

- 千賀則史.(2012).児童相談所における関係性に焦点を当てた家族再統合プログラム:サインズ・オブ・セイフティを活用して.子どもの虐待とネグレクト:日本子ども虐待防止学会学術雑誌,14(1),58-66.
- 清水健太,小野加奈子,草野亜咲子,寺田悦子,中嶋康子,佐野澄子,...上野美智子.(2013).精神疾患をもつ子育て世帯を対象とした PCG 事業報告グループミーティングと訪問看護を連動させた精神疾患をもつ親と次世代の育成について.病院・地域精神医学,55(4),369-371,376.
- 白川美也子.(2006).子ども虐待被虐待歴をもつ親の育児支援 DESNOS の理解から.保健の科学,48(12),923-929.
- 澁谷,智子.(2012).子どもがケアを担うとき:ヤングケアラーになった人/ならなかった人の語りと理論的考察.理論と動態,(5),2-23.
- 澁谷,智子.(2017).ヤングケアラーを支える法律:イギリスにおける展開と日本での応用可能性.成蹊大学文学部紀要,(52),1-21.
- 塩田規子.(2013).【親支援の現在:分離後の親支援に焦点をあてて】 児童養護施設における親支援.子どもの虐待とネグレクト,15(3),295-300.
- 菅野恵.(2017).児童養護施設入所児童における精神疾患の親から受ける心理的影響:自由記述データの分析を通して.和光大学現代人間学部紀要=Bulletin of the Faculty of Human Studies,(10),103-112.
- 菅野恵,島田正亮,元永拓郎.(2014).親の精神疾患と子どもの課題についての質的検討:児童養護施設での追跡調査を通して.帝京大学心理学紀要,(18),23-29.
- 菅原ますみ.(1997).養育者の精神的健康と子どものパーソナリティの発達 - 母親の抑うつに関して.性格心理学研究,5(1),38-55
- 杉下佳文,栗原佳代子,古田正代,池田真理,山本弘江,大塚寛子,上別府圭子.(2011).周産期メンタルヘルスと子ども虐待対応に関する全国医療機関の取り組み.日本周産期・新生児医学会雑誌,47(1),86-91.
- 砂川恵子.(2008).母子生活支援施設における支援システム構築に関する一考察--精神疾患を発症した母親と子どもへの支援.児童学研究,(10),11-21.
- 鈴木浩之.(2007).「子ども虐待」への保護者参加型支援モデルの構築を目指して:児童相談所における家族再統合についての取り組み.社会福祉学,48(3),79-93.doi:10.24469/js.sw.48.3_79

- 田上美千佳,近藤直司,田中哲.(2005).【児童虐待家族再統合までの道のり】支援システムと保健師の役割家族再統合を考える意味.保健師ジャーナル,61(10),934-937.
- 高田美也子,堀井節子.(2010).精神障害者の子育て支援における保健所・医療機関・乳児院の役割と連携--有機的なチーム支援体制が構築された事例をととして.保健師ジャーナル,66(10),918-923./
- 高橋久雄.(2004).養護施設の専門性に関する考察--児童養護施設事例検討スーパービジョンから見る養護担当職員に求められる専門性.学苑,(761),58-66.
- 高山由美子.(2018).【ソーシャルワーカーとして「語り」を「聴く」実践の意義と方法-「分かってもらえた」「受けとめてもらえた」と実感できる支援関係-】児童養護施設におけるライフヒストリーの作成とライフストーリーワークの取り込み方法 家庭支援専門相談員の「聴く」実践を手がかりに.ソーシャルワーク実践研究,(8),53-63.
- 田邊悠,稲毛映子,黒田眞.(2016).児童虐待による親子分離からの家庭復帰支援に対する保健師の関わり.文京学院大学総合研究所紀要,(16),81-93.
- 玉城三枝子.(2016).精神障害のある母の場合の保健・医療・福祉の連携の現状多職種のインタビューを通して.沖縄の小児保健,(43),11-18.
- 田中怜子,伊勢田堯,後藤恵,山本久子,高井純子.(2004).児童への虐待とアルコール問題を持つ母に対する地域からの援助精神保健福祉センターの中核的機能を再検証する.病院・地域精神医学,47(2),126-132.
- 田中究.(2013).【親支援の現在-分離後の親支援に焦点をあてて】精神科領域からの養育者支援.子どもの虐待とネグレクト,15(3),301-307.
- 田野中恭子.(2019b).【精神疾患の親をもつ子どもへの支援】ドイツの子ども支援と日本への応用に向けて.こころの健康,33(2),39-47.
- 田野中恭子.(2019a).精神疾患の親をもつ子どもの困難.日本公衆衛生看護学会誌,8(1),23-32.
- 立花良之,小泉典章,樽井寛美,赤沼智香子,鈴木あゆ子,石井栄三郎,鹿田加奈.(2016).メンタルヘルス不調の母親とその子どもの支援のための、妊娠期からはじまる医療・保健・福祉の地域連携モデルづくりについて.子どもの虐待とネグレクト,18(3),362-366.
- 寺田悦子,小野加津子.(2017).【病気になった親の子どもへの支援】子どものケアの実際 精神疾患をもつ子育て世帯の親を対象とした PCG 事業グループミーティングと訪問看護を連動させた、精神疾患をもつ親と次世代育成.小児看護,40(12),1549-1555.

- 土田幸子,宮越裕治.(2017).精神障害の親と暮らした経験のある成人した"子ども"へのアンケート調査子どもを対象とした心理教育の充実のために.鈴鹿医療科学大学紀要,(24),53-64.
- 筒井孝子.(2011).日本の社会的養護施設入所児童における被虐待経験の実態.厚生指標,58(15),26-33.
- 上野里絵,上別府圭子.(2010).精神疾患を有し子育てをしている女性の特徴およびサポートの実態-主治医による配偶者への病気説明の有無を含めた検討-,こころの健康,25(2),35-43
- 梅澤直美,松藺康平.(2017).【病気になった親の子どもへの支援】子どものケアの実際地域におけるケア行政の多職種協働によるチーム支援.小児看護,40(12),1561-1567.
- United Nations.(2010). (厚生労働省：資料より引用) .<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000018h6g-att/2r98520000018hly.pdf>
- Vigod SN., Laursen TM., Ranning A., Nordentoft M., Munk-Olsen T. (2018) .Out-of-home placement to age 18 years in children exposed to a postpartum mental disorder. Acta Psychiatr Scand.;138(1):35-43.DOI: 10.1111/acps.12890
- 渡邊博幸,榎原雅代.(2017).【周産期メンタルケア-多職種連携の作り方-】精神保健と母子保健の連携はなぜ困難なのか? 3つの連携障壁とその解決.精神科治療学,32(6),719-722.
- 八木修司,樋口純一郎,森歩夢,高田豊司,中村有生.(2011).家族再統合に際する施設心理士の役割「家族再統合プログラム」の実践例をととして.関西福祉大学社会福祉学部研究紀要,14(2),85-94.
- 山本恒雄.(2013).児童相談所における保護者支援の現状と今後の課題について(特集親支援の現在:分離後の親支援に焦点をあてて).子どもの虐待とネグレクト=Japanese Journal of Child Abuse and Neglect:日本子ども虐待防止学会学術雑誌,15(3),268-276.
- 山本恒雄,有村大士,永野咲,田代充生,伊藤悠子,八戸弘仁,...板倉孝枝.(2012).児童相談所等における保護者援助のあり方に関する実証的研究保護者援助手法の効果、妥当性、評価、適応に関する実証的研究.日本子ども家庭総合研究所紀要,48,135-183.
- 山本恒雄,大久保牧子,佐藤和宏.(2013).児童相談所における相談援助の充実児童相談所における保護者支援のあり方に関する実証的研究.日本子ども家庭総合研究所紀要,50,35-58.

山本恒雄,大久保牧子,佐藤和宏,鶴岡裕晃,板倉孝枝,永野咲,...川松亮.(2014).児童相談所における保護者支援のあり方に関する実証的研究.日本子ども家庭総合研究所紀要,50,35-58.

山本恒雄,庄司順一,有村大士.(2008).児童相談所等における保護者援助のあり方に関する実証的研究(2)保護者援助手法の効果、妥当性、評価、適応に関する実証的研究.日本子ども家庭総合研究所紀要,恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所,45,235-283

山中亮.(2009).精神障がいのある親とその子どもの支援.学園論集,(139),97-105.

山下浩.(2013).精神障害を持つ親とその子どもに対する理解.小児保健研究,72(6),769-776.

吉野賀寿美,小松容子,長江美代子.(2020).メリデン版訪問家族支援実践の振り返りを通しての学び支援の効果の一考察.日本精神科看護学術集会誌,61(2),253-257.

謝辞

この度の論文作成にあたり、ご協力ご支援いただきました全ての皆さまに深く感謝申し上げます。

指導教員である聖路加国際大学教授の麻原きよみ先生には、格別なご指導をいただき深く感謝申し上げます。自己の考えがうまく言語化できないときでも丁寧に聞いてくださり、考え方や方向性など多大なご助言をいただきました。多くの励ましのお言葉をいただき、とても支えになりました。本当にありがとうございました。

公衆衛生看護学研究室の小林真朝先生、浦口真奈美先生、江川優子先生、河本秋子先生、在宅看護学研究室の小野若菜子先生、昨年度ご指導いただいた永井智子先生には研究を進めていく過程での検討事項や、疑問点について貴重なご意見やご助言をいただき感謝しております。

各講義でお世話になった先生方、いつも気にかけて下さった先生方、図書館司書の佐藤様はじめ図書館の皆さま、研究にも多くの意見をくださった先輩方、修士 1 年の皆さまなど多くの方々のご協力、ご支援をいただきましたことを感謝申し上げます。

そして、2 年間いつもあたたかく励ましてくれた同級生の皆さま、本当にありがとうございました。共に学ばせていただいた時間をこれからも大切にしていきたいと思います。

最後に、大学院への進学を認め、どんなときも支えになってくれた家族に、いつも応援してくださった方々に、心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

2021 年 1 月 30 日

聖路加国際大学 修士課程 2 年